

「第4次吹田市地域福祉計画」進捗管理シート（まとめ）（案）

基本目標 現状と課題	施策の方向		
	進捗状況	評価指標	評価
基本目標1：公民協働による地域福祉活動の推進	施策の方向1：お互いの顔の見える関係づくり		
		自治会加入率	C
		小地域ネットワーク活動の延べ参加者数	A
		高齢者生きがい活動センターの利用者数	A
		/	
	施策の方向2：福祉活動の担い手づくり		
		障がい者サービスボランティア協力者数	B
		青少年指導者講習会の参加者数	B
		/	
	基本目標2：総合的支援のネットワークの構築	施策の方向1：権利擁護の推進	
		認知症サポーターの養成者数（累計）	C
		障がい者週間記念事業の啓発行事への参加者数	B
		成年後見制度の認知度	A
		日常生活自立支援事業利用者数	A
		/	
施策の方向2：地域福祉のセーフティネットの拡充			
		地域包括支援センターの認知度	A
		吹田市社会福祉協議会の認知度	A
		コミュニティソーシャルワーカー(CSW)の（延べ）相談対応回数	A
		自主防災組織の結成数（連合自治会単位・単一自治会単位）	A
	災害時要援護者支援に関する協定締結地区数	B	

「第4次吹田市地域福祉計画」進捗管理シート（まとめ）（案）

基本目標	施策の方向		
現状と課題	進捗状況	評価指標	評価
基本目標3：地域福祉活動推進の基盤整備	施策の方向1：地域福祉活動に関する支援		
		民生委員・児童委員の人数	B
		単位高齢クラブ数	C
		コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の認知度	A
	施策の方向2：交流の場、活動拠点の整備		
		ふれあい交流サロン設置数	B
		こどもプラザ事業実施回数	C
		貸館の延べ使用件数（総合福祉会館）	C
	施策の方向3：暮らしと健康を支える福祉サービスの充実		
		地域密着型サービスの整備箇所数	A
		障がい福祉サービスの利用者数等	B
		留守家庭児童育成入室児童数	B
		生活習慣改善するつもりはない人の割合	A
		各中学校ブロックにスクールソーシャルワーカーを配置した時間数	B
		移動経路のバリアフリー化率（整備済延長/全延長×100）	B
		JOBナビすいたの利用者数	A
	「障がい者就職応援フェアInすいた」への参加者数	B	

「第4次吹田市地域福祉計画」進捗管理シート（まとめ） 利用方法（案）

基本目標	施策の方向		
現状と課題	進捗状況	評価指標	評価
<p>基本目標2：総合的支援のネットワークの構築</p>	<p>施策の方向1：権利擁護の推進</p>		
<p>重点施策である「成年後見制度の利用促進」と「包括的な相談支援体制の構築」については、地域と専門職とのつながりや、相談・支援機関同士が連携・協働できる体制として、行政だけではなく地域連携ネットワークを構築していくことを目標に、各検討会議において事業実施や課題解決に向けて検討が進められています。検討会議等を通じて庁内における共通認識の醸成や、庁内全体で目標達成に向けて足並みを揃えていくことが課題となります。</p> <p>一方、重点施策である「地域の安心・安全を支える体制の充実」を達成するためには、地域における防災力・減災力の向上のため、自治会や自治防災組織、福祉施設等との連携が不可欠であり、災害時要援護者支援ネットワークを強化するとともに、吹田市災害時要援護者避難支援プランに基づき個別避難計画の作成を進める必要があります。</p>	<p>重点施策である「成年後見制度の利用促進（吹田市成年後見制度利用促進計画）」に基づき、吹田市における中核機関の在り方について検討するため、令和4年7月に成年後見制度利用促進体制整備検討会議を立ち上げました。令和6年4月の中核機関開設を目指し、吹田市の権利擁護に関する現状と課題や中核機関に求める機能等について検討を進めています。中核機関の開設後は地域連携ネットワークを構築し、だれもが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように権利擁護を推進していきます。</p>	<p>認知症サポーターの養成者数（累計）</p>	C
	<p>障がい者週間記念事業の啓発行事への参加者数</p>	B	
	<p>成年後見制度の認知度</p>	A	
	<p>日常生活自立支援事業利用者数</p>	A	
	<p>施策の方向2：地域福祉のセーフティネットの拡充</p>		
<p>重点施策である「包括的な相談支援体制の構築」の具現化に向け、複雑化・複合化した地域生活課題の解決を目的に地域福祉問題調整会議を活用し、重層的支援体制整備事業の実施に向けた検討を始めました。不動産関係団体等と連携し住宅の確保が困難な方へのサポートを行う居住支援協議会（令和4年度設置）や権利擁護支援の地域連携ネットワークの中核機関（令和6年度設置予定）等と連携した「吹田市モデル」となる重層事業の構築を目指します。</p> <p>もうひとつの重点施策である「地域の安心・安全を支える体制の充実」に資する取組としては、地域支援体制づくりの一環で地域・福祉連携会議や勉強会を開催し、地域と連携して安心安全のまちづくりを推進しています。</p>	<p>地域包括支援センターの認知度</p>	A	
<p>吹田市社会福祉協議会の認知度</p>	A		
<p>コミュニティソーシャルワーカー(CSW)の（延べ）相談対応回数</p>	A		
<p>自主防災組織の結成数（連合自治会単位・単一自治会単位）</p>	A		
<p>災害時要援護者支援に関する協定締結地区数</p>	B		